

KJブランド創出プロジェクト

1 目的

町の農産物等や観光資源を活用した「KJブランド（仮称）」を構築することにより、町の農業を再生し、雇用の確保、拡大を図ることが目的である。6次産業化をはじめとして、交流人口や定住人口の増加に向け、「KJブランド」を構築するための、調査や検討を行い、ブランド認証制度の導入、高付加価値の農産物や加工品等を創出するとともに、魅力ある農業を確立し、若者の雇用の創出、拡大につながる。

2 事業内容

➤ (地方創生加速化交付金活用) KJブランド創出プロジェクト ～地域資源魅力発掘事業～

町の地域資源について、調査、発掘を行い、観光情報誌の作成やモニターツアー等による積極的なPRを図るとともに、6次産業化を推進し、町のブランド品を創出していくための商品開発を行う。

① 農村カパワーアッププロジェクト

- 6次産業化推進体制構築
農業生産団体、大学、農協、商工会、企業等で構成する協議会の立ち上げ
- 6次産業化戦略の策定
- 町の農産物を使った新商品開発

② 「KJブランド」創出プロジェクト

- 地域資源魅力創造事業
- ブランド戦略の構築と認証制度の導入

③ バスツアーを活用した「KJブランド」タウンプロモーション

- バスを活用したモニターツアー
- 平成の森公園ライトアップ&試食会イベント
- 観光情報誌の作成

計画期間： 平成 28 年度

➤ (地方創生推進交付金活用) KJブランド創出プロジェクト ～深化バージョン～

町の農産物や加工品等の地域資源を「KJブランド（仮称）」としてブランド化を確立し、全国ブランドとなるような商品の創出を目指す。また、町の農業を再生し、新規就農者等への技術指導や6次産業を推進するための人材育成を図るとともに、空き家や校舎等を利用した地域農業再生拠点施設の整備を図る。

- 6次産業化の推進（商品化への体制整備）
- 人材育成（新規就農者向け研修、6次産業化推進に向けた専門家等）
- 農業の法人化へ向けた検討・調整
- ブランディング戦略の構築
- 首都圏飲食事業者向け試食会等の実施
- 民間事業者と連携したバスツアー
- 新商品開発など

計画期間： 平成 28 年度～平成 30 年度